

AI活用方針

はじめに

ヤマトグループは、物流を通じて社会インフラを担ってきました。人工知能（AI）技術は、この社会的使命をさらに高めるための重要な手段です。

本方針は、ヤマトグループがAIをどのような考え方・方向性で活用するかを社会に示すものです。

「AI倫理方針」の10原則に基づき、責任ある形でAIの可能性を最大限に活かします。

AI活用の基本方針

方針	内容
事業価値の創出	AIを新たな事業価値・顧客体験を生み出す戦略資産として位置づけ、物流サービスの革新を推進します。
責任あるAI活用	AI倫理方針の10原則に基づき、安全性・公平性・透明性を担保した形でAIを活用します。
全社的なAIリテラシー向上	すべての社員がAIを適切に活用できる組織能力を目指します。
データ資産の活用	グループが保有する物流データを責任ある形で活用し、サービス向上につなげます。

AI活用の重点領域

領域	内容
社内業務の生産性向上	AI駆動開発ツール・社内チャットAI・業務自動化エージェントを活用し、社員がより創造的な業務に集中できる環境を整備します。AIを社員の働き方改革を支える基盤として位置づけます。
物流オペレーションの高度化	AIを活用した配送ルート最適化・需要予測・在庫管理・品質管理等により、物流サービスの品質向上とコスト効率化を実現します。CO ₂ 排出量の削減にも貢献します。
顧客・社会向けサービスの革新	社内活用の基盤整備を経て、AIを活用したより便利で安全な顧客向けサービスの開発を推進します。社会全体の物流効率化にも貢献します。

人材育成の取り組み

AIを活用できる人材の育成はヤマトグループの重要課題です。全社員を対象にAIリテラシー教育を実施するとともに、AI専門人材の育成を継続的に推進します。AI活用による働き方の変化に責任ある形で対応します。

関連する方針・規程

- [個人情報保護ポリシー](#)
- [情報セキュリティ確保宣言](#)
- [AI倫理方針](#)

制定：2026年8月